

3 笠岡湾干拓地に関する事業

実施事業	大空と大地のカーニバル（農政水産課）
総事業費	7,993,656 円
ふるさと納税充当額	4,900,000 円

笠岡湾干拓地に整備された日本でも数少ない農道離着陸場が存在することで生まれる「空」という空間資源を活かし、「大空と大地のカーニバル」に代わるイベントとして「Fly Over KASAOKA」を実施しました。

全日程を通して、新型コロナウイルス感染症への対応を考慮し、人の集まらない、密にならないことに注意して事業を実施しました。

①プレイベント【空に願いを/Wish in the Sky】

空に架かる白線を天の川に見立てて『季節外れの七夕』と銘打った七夕飾りを市内各所及び小中学校に設置し、市民、児童生徒の皆様が願い事をしたための専用短冊を飾りました。また、小中学校限定で、学校ごとに人文字航空写真撮影を実施しました。撮影した写真はホームページからダウンロードしていただくほか、フォトフレームに入れて各学校へ寄贈しました。

②メインイベント【夢と希望の白線飛行】

曲技飛行士・室屋義秀氏の操縦による航空機がスモーク（白煙／白線）を引きながら笠岡市全域を飛行しました。併せて、高校生及び大学生を対象に空の魅力を伝えるため、グライダー飛行体験を実施しました。

③エキシビジョン【演舞躍動】

曲技飛行士・室屋義秀氏が笠岡湾干拓地付近の空域にて、躍動美溢れる曲技飛行を披露しました。また、市内全域の上空を舞台に日本が誇る自動車メーカーHONDAのビジネスジェット、航空自衛隊が運用する国産ジェット練習機『川崎 T-4』等がそれぞれ展示飛行を行いました。